

Press Release

【報道資料】

2014年5月20日

ベルリッツ・ジャパン株式会社

**近畿大学の「外国語・国際系学部」開設構想に連携協力
国際ビジネスで通用するグローバル人材を育成**

外国語教授、留学等、語学に関わるサービスを提供しているベルリッツ・ジャパン株式会社（本社：東京都港区南青山、代表取締役社長：増本 勝彦、以下「ベルリッツ」）は、近畿大学（大阪府東大阪市）と2016年4月に開設構想されている近畿大学の第14番目の学部「外国語・国際系学部（名称未定）」の開設構想に連携協力し、ベルリッツのグローバル人材育成ノウハウや留学プログラム等を提供します。

ベルリッツでは、企業のグローバル化の加速、文部科学省のグローバル人材育成推進の流れを受け、学校（中学、高校、大学）向けサービスを強化しています。去る2月「スクールビジネス開発室」を設立し専用のホームページ（<http://www.berlitz-ac.jp/>）を開設しました。

現在までに、中学や高校、大学など、年間100校以上に渡り語学教育のサービスを提供しています。正課や課外への教師派遣や、共同での授業内容の検討・提供、オリジナル教材の制作等を行っています。今回の近畿大学との連携協力では、こうした活動を一歩進め、初めて学部設立へ協力します。

なお、今回の近畿大学が開設構想している学部の概要は、近畿大学のホームページ内（<http://www.kindai.ac.jp>）ニュースリリースをご参照ください。

【ベルリッツについて】

ベルリッツは1878年に米国で創業し今年で136周年となります。130年以上の歴史を通して、個人のほか全世界で約12,000社の企業がベルリッツで外国語を学んできました。外国語を短期間で自然に修得できるその独自の教授法は、ベルリッツ・メソッド®とよばれ、教授法辞典にも紹介されております。体系化された研修でメソッドを体得した教師の質も世界で高く評価されています。

また、グローバル人材を育成する様々なプログラムを提供しています。スキルやビジネスシーン別に細分化されたプログラムや、ケーススタディを用いた実践的なビジネスコミュニケーション力を養うプログラム、さらに異文化対応力を修得するソリューションまで企業や個人のニーズに合わせて提案しています。

現在、株式会社ベネッセホールディングス（本社：岡山市 代表取締役社長：福島保）の100%出資子会社として世界約75カ国、550以上のランゲージセンターとのネットワークのもと、10カ国語以上の外国語教授・留学等の語学に関わるサービス、ならびにグローバル人材育成に関するサービスを提供しています。

ベルリッツ・ジャパン株式会社は、日本国内で約70のランゲージセンター（フランチャイズ:3含む）を展開しています。詳細は、ベルリッツ・ジャパン ウェブサイト（<http://www.berlitz.co.jp/>）をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先
フリーダイヤル：0120-5-109-23